

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調査書

都道府県名	青森県	事業実施主体	青森県、新郷村	地域再生計画名	活力ある豊かな村づくりを支えるキリスト街道周遊計画
計画期間	平成29年度～令和2年度	評価責任者	青森県林業会議 青森県治山林道協会 青森県森林組合連合会 青森県農林水産部林政課長 新郷村建設課長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標	基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	達成状況	中間目標値の実現状況に関する評価	
		基準年度		年度	中間実績	基準年度					
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1 定住促進住宅の利用	0戸	H27	10戸	H30	10戸	10戸	H32 (R2)	○	既に最終目標値を達成している。 既に最終目標値を達成している。 既に最終目標値を達成している。	
	指標2 年間観光客の増加	152,672人	H27	160,000人	H30	139,250人	167,000人	H32 (R2)	×		中間目標値に達していない（目標値の87%・20,750人少ない状況）。引き続き残りの計画を進め、目標値達成を目指す。
	指標3 年間間伐面積の増加	60ha	H27	105ha	H30	132ha	120ha	H32 (R2)	○		既に最終目標値を達成している。村道・林道の整備が進み、森林へのアクセスが改善されたことに伴い、間伐等の森林整備が進んでいる。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1 国道454号被災時の迂回路確保 長湊地区～(村道経由)～新郷村役場 国道454号～(林道経由)～羽井内地区	25分 12分	H27	25分 9分	H30	25分 12分	23分 9分	H32 (R2)	×	林道の完成が1年遅れていることから、中間目標を達成していない。（令和元年完成予定） 村道は令和2年完成に向け順調に事業を進めている。最終年（R2）、最終目標達成の見込みである。 最終年度に向け整備を進める。 既に最終目標値を達成している。	
	指標2 観光地間のアクセス改善 大石神ピラミット～キリストの墓	18分	H27	18分	H30	18分	16分	H32 (R2)	○		
	指標3 林道の保全対策の推進 保全対策推進率	0%	H27	100%	H30	100%	100%	H32 (R2)	○		
③事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価						
特別措置を適用して行う事業	村道整備事業	1.5km	1.11km	1.5km	当初計画に対し、路線延長から見ると進捗率は74%。村中心部から観光施設を結ぶ移動時間の短縮が図られ、また、近隣の森林整備が進んでおり効果が目に見えてきている。令和2年完成に向け引き続き整備を進め、新たな観光ルートとして効果が期待できる。						
	林道整備事業	0.5km	0.36km	0.5km	当初計画に対し、路線延長から見ると進捗率は約72%、令和元年完成に向け順調に進んでいる。全線開通時には、地域全体の林業振興、森林整備が図られ、国道454号の被災時の迂回ルートとしての活用も期待できる。						
その他の事業	地域資源を活かした交流人口の拡大	各種施設を活用した地域活性化事業			キリスト祭り、新郷村ファン感謝デー、新郷ふるさと祭り等のイベントを、道の駅しんごうなどの各種施設を活用し観光客を呼び込み、農林業と併せて地域活性化を進めている。						
	移住・定住の促進	新郷ぐらし促進事業			転入者及び住民の他市町村へ通勤しながら「暮らすところは新郷村」、という新郷暮らしのスタイルを支援し、村の豊かな農産品や自然、人との関わりを感じられる村づくりを推進している。						
	木質バイオマスの推進による森林の活用と地域の活性化	村内商店街の活性化事業			木の駅プロジェクトを推進し、これまで放置していた林地残材を木の駅へ出荷し、村営の温泉木質ボイラーに活用している。材は地域振興券で買い取り、村内商店街の活性化を進めている。						
	社会資本整備総合交付金事業	村道の舗装・修繕や橋梁の補修を行う			道路施設の保全整備を行い、地域の利便性向上や地域の活性化を図るため事業を行った。						
	森林環境保全整備事業	森林整備作業に支援			村内の森林の適正管理を図るため、森林整備事業を支援している。						
計画外で独自に実施した事業											
④評価方法	9月中旬に活力ある豊かな村づくりを支えるキリスト街道周遊計画評価委員会を開催し、中間目標値の実現状況に関する評価・検討等を行う予定としている。										
⑤中間評価の公表方法	青森県、新郷村のホームページに掲載する。										
⑥計画全体の総合評価	当地域再生計画では、道整備交付金を活用した村道整備と林道整備を一体的に行うことにより、国道454号と連携した道路ネットワークを構築し、村の豊かな農産品や自然、人との関わりを感じられる温もりのある村づくりを推し進め、村の若い世代を含めた人口の減少に歯止めをかけた地域の活性化を図ってきた。指標1・3は既に目標を達成し、最終年度に向けさらに拡大を目指す。指標2については、現時点で目標を下回っており、最終目標値の達成に向け引き続き事業展開を図る。										
⑦今後の方針等	中間評価結果の反映状況				有りの場合その具体的内容						
	地域再生計画の見直し（有、無） 令和2年度予算要望額への反映（有、無） 有りの場合の増減額 3,000千円				来年度で事業完了予定であることから計画に即した整備を進める。 来年度で事業完了予定であることから計画に即した整備を進める。						
⑧今後の方針等に対する対応	令和2年度の事業費（村道：雨池線） 40,000千円（うち交付金：20,000千円） 総事業費 317,204千円（314,204千円） 令和元年、林道妙返沢線完成予定。村道雨池線は令和2年完成予定。目標達成に向け計画に即した整備を進める。										